

申込用紙

申込方法 下記項目をご記入の上、E-mail、またはFAXにてお申込み下さい。
申し込み締め切り7月16日(金)。ただし定員になり次第、締め切らせていただきます。

氏名・フリガナ	
学校名	
学校 TEL	学校 FAX
連絡先住所 〒	
連絡先 TEL	連絡先 FAX
電子メールアドレス	H

ご提供いただいた個人情報は、主催者及び協力団体において、本セミナーの実績の取りまとめ、データ作成、及び、今後の国際理解/開発教育に関する情報提供のために利用させていただきます。情報提供を“希望されない”項目がございましたら、当該項目にチェックをして下さいますよう、お願いいたします。

参加プログラム ~ にお答え下さい。

出席日をチェックしてください。

2日間とも出席 第1日目(7月30日(金))のみ出席 第2日目(7月31日(土))のみ出席

第2日目(7月31日(土))ご出席の方

ご希望のプログラムがあれば、各時間帯から第2希望までお選び頂き、AからJの記号をご記入下さい。
[NGO/NPO等とのワークショップ]

	午前の部	午後の部
第1希望		
第2希望		

先着順といたしますが、人数の都合等により、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。特にご希望がない場合、ご記入頂く必要はございません。プログラムの決定は調整後にお知らせします。

当セミナーの参加回数をお知らせください。

初めて 2回目 3回目 その他(回目)

お申込・お問合せ先

独立行政法人国際協力機構大阪国際センター(JICA 大阪)
〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25番1号(担当:市民参加協力課 開発教育支援事業担当)
TEL 072-641-6904(直通) FAX 072-641-6910 E-mail osictpp@jica.go.jp

JICA 大阪へのアクセス

大阪モノレール彩都線「阪大病院前」駅から北へ1.2km。
または、阪急茨木駅、JR茨木駅から近鉄バスで「阪大東口」下車、北へ1.2km。
公共交通機関にてお越しください。
お車での来場は固くお断りいたします。

その他

昼食は持参をお勧めします。



平成22年度

国際教育セミナー



~ 教室で、世界を感じよう! 世界を伝えよう! ~

日時 平成22年7月30日(金)13:00~17:00

7月31日(土)10:00~16:30

会場 JICA大阪(独立行政法人国際協力機構 大阪国際センター)

定員 第1日目 50名 第2日目 150名

参加費
無料

教職員自主研修支援「大学・専修学校等オープン講座」

ワークショップや実践事例を体験し、参加型学習のツボを考え学ぶ2日間! NGO/NPOなどの団体や、教員同士の情報交換の機会としてもご活用ください!

1日目 7月30日13:00~17:00 (1日目だけの参加も可能です)

(第1日目は大阪府教育センター主催「国際教育研修」と同時開催)

ワークショップ

こどもの権利って?

講師:大阪府立松原高等学校 山田 正人 氏

龍谷大学大学院 国際文化学研究科 村田 幸代 氏

講演

こうして僕は世界を変えるために
一歩を踏み出した

講師:NPO法人テラ・ルネッサンス 鬼丸 昌也 氏

ウガンダやカンボジアなどで置かれている子どもたちの状況(地雷にさらされている環境、子ども兵など)…。ワークショップと講演を通して私たちが争いのない社会をつくるために、「事実を知ること」から「一歩を踏み出すこと」の大切さを学び、何ができるのかを考える“場”です。

午前・午後 プログラム選択制。ワークショップや授業発表、教材紹介、情報交換などを通じて、NGO/NPOなど諸団体との連携を深めるための取り組みについて学びます。定員各30名、申し込み先着順。

【午前の部】 10:00～12:00

- A** (特活)開発教育協会大阪事務所
『地球の食卓
～食の多様性(世界・国内)編～』
DEAR では「食」中心に生活、文化、環境などのテーマで小学生から一般まで展開できる新教材を出版します。今回は「世界の多様性、国内の多様性、自分のくらし」を考えます。
- B** (社)アジア協会アジア友の会
『なぜ木がないの？
小さな島から見る環境問題』
フィリピンに実在する小さな島の住民になったつもりで実体験。ワークショップをすすめていくうちに、今、地球で起こっている環境問題を体感することができます。
- C** シャプラニル関西
『時空を超えて！バングラデシュ・
ダッカと大阪の児童労働』
ダッカには、家事使用人として働き、学ぶことのできない少女達がいいます。実は数十年前の大阪でも少女達が児童労働を経験していました。現在、学ぶことを取り戻し大人になった方々がダッカの少女達に送ったメッセージとは！
- D** (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
『一人ひとりが持っている！』
セーブ・ザ・チルドレンが活動のなかで出会った子どもたちと子どもの権利との関わりを考えながら、子どもの権利条約の内容をみていきます。 本ワークショップは定員20名
- E** E - EGG(グローバル時代の英語教育を考える会)
『小学校英語活動で夢を育む
My Story Book を創ろう！』
英語ノートの“将来の夢を紹介しよう”を発展させ My Story Book を創ります。子どもたちは自分自身を見つめ直し、自分を深く知ることで掛けがえのない存在だと気づき、自己肯定感を高めていきます。

【昼食休憩】 12:00～13:30

展示、各団体の資料、相談コーナーをご活用ください。個別相談も可能です。

【午後の部】 13:30～15:30

- F** あおぞら財団((財)公害地域再生センター)
『食と交通と環境を結ぶ
フードマイレージ買い物ゲーム』
買い物と地球温暖化のつながりが見える買い物ゲームです。今年は食材カードをマグネットにした「簡易版」も披露します。
- G** 日本国際飢餓対策機構
『「世界と地球の困った現実」を
解決するために』
世界では飢餓や貧困に苦しむ人は、10億2000万人。餓える人々には、すぐに食べものを提供しなければならない場合があります。しかし、それだけで飢餓は解決できるのでしょうか。まんがを題材に、共に考えます。
- H** (特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
『子どもだってできる
国際協力ボランティア！』
児童労働をなくすため、18歳以下の子どもが中心となって活動しています。子どもたちがアクションを起こすきっかけ作りや、子どもができる国際協力を考えましょう。
- I** (財)大阪府国際交流財団/
河内長野市立教育メディアセンター
『国際理解教育を深め、外国人
サポーターを教室に呼ぼう！』
国際理解教育外国人サポーター事業を通じて教室で世界の文化、伝統、音楽、遊びなどについて学び世界を身近に。事業紹介・サポーターの実演・インターネットを利用した遠隔授業紹介をします。
- J** JICA大阪
『「世界のために何かしたい！」
考えてみよう！協力のカタチ』
私たちにできることは、現地のためになること？それはどうすれば分かるの？アフリカにあるコゲロ村を題材に協力のカタチを考えます。今私たちがすべきことが見えてくる！学校で子どもたちとできるワークです。アフリカのお話付き。

【休憩】 15:30～15:45

展示、各団体の資料、相談コーナーをご活用ください。個別相談も可能です。

【全体会】 15:45～16:30

ここでは、耳寄り情報のご案内やご挨拶の後、出展団体と直接話せる場をご用意しています。
英語教育について、テレビ会議システムについて、国際協力活動について、教材の使い方について・・・気になることを自由に聞けるチャンスです。
また、参加者同士の貴重な情報共有の場となること間違いなしです。お見逃しなく！！

上記プログラム以外にも、展示、相談コーナーにご自由に参加ください。

国立民族学博物館 貸し出し学習キット『みんぱっく』の展示と体験(7月31日(土)のみ)
みんぱっくは、こどもたちが新しい世界と出会い、触れ合うためのカバンです。世界各国の民族衣装や生活の道具などと、それらにまつわる情報や解説がパックされています。

資料・相談コーナー
NPO 等各種団体の資料展示、配布、教材販売・紹介をしております。
随時個別相談にも応じますので、お気軽にお声がけください。